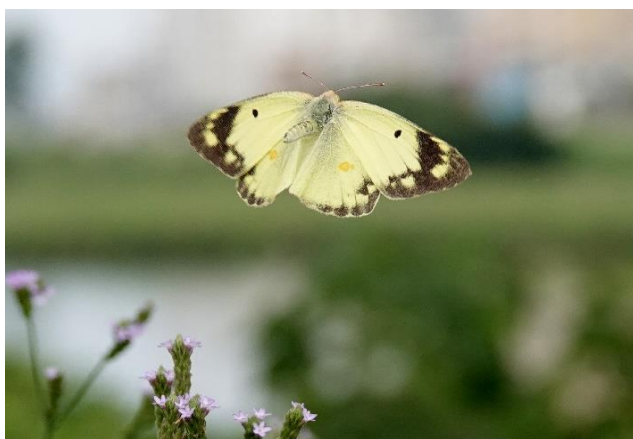


和名	分類	特徴ほか	会える場所											
モンキチョウ	シロチョウ科	黄色いのはオス	ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他								
			○	◎	○	全国								
			成虫発生時期（月）											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			○ 食草		食樹		発生回数/年			越冬形態				
			シロツメクサ、レンゲほか		4～7			幼虫						



多摩川土手（中野島）♀ 9月20日（2021年）キクイモに飛来



多摩川土手（稲田堤）♂ ♀ 判別不可能 8月24日（2019年）
アレチハナガサに飛来



多摩川土手（中野島）♀ 5月3日（2022年）
ナヨクサフジで産卵行動



多摩川土手（稲田堤） 8月24日（2019年）
アレチハナガサに飛来 右：♀ 左：♂ ♀ 判別不可能

モンキチョウという名前は「紋の入ったキチョウ」ではなく、「紋が黄色いチョウ」から来ているようです。オスは全て黄色なのに対し、メスは遺伝型によって白と黄色が出ます。黄色い場合、外観からはオスとメスの判別はつきません（但し黄色の紋はオス・メス共通）。そして属しているのはシロチョウ科・・・ややこしいですね。

ハイムの裏の多摩川土手では3月中旬から飛び始めます。シロチョウの間ではモンシロチョウ、ツマキチョウよりも数が多く、発生時期が早く、飛ぶのも速いのがモンキチョウです。

北アルプスや浅間山系には本種によく似たミヤマモンキチョウという高山蝶が生息していて、羽の縁取りがピンクであることで区別されます。



多摩川土手（稲田堤） 8月24日（2019年） アレチハナガサに飛来 ♂♀判別不可能



多摩川土手（稲田堤） 10月2日（2019年） 多摩川の川面に影を映して飛ぶ♀ センダングサが見える